

ACT：Asthma Control Testの評価法

- 喘息患者のコントロール状態を簡便に評価するツール。 **25点満点。点数が多い方が良い。**
- 25点 = Total control：現在の治療でとても良い状態。
- 20点～24点 = Well control：良好なコントロール状態だが、更に良くなることのできる余地がある（吸入指導も大切）。
- 20点未満 = コントロールされていない状態。治療内容の見直し、吸入がしっかりできていることの確認などが必要。
- 治療介入や吸入指導などにより、臨床的に有効と判断する基準（MCID: Minimal Clinically Important Difference）は3点以上の増加。

CAT (COPD assessment test) の評価法

- COPD患者のQOLの評価を簡便に行うことができるツールとしてSGRQを開発したP. Jones先生が開発 (Jones P et al. Eur Respir J. 2009; 34: 648-654.)。
- 8つの質問項目、それぞれ0～5点の6段階で評価。最大で40点。
点数が少ない方が良い。
- 治療介入や吸入指導などにより、臨床的に有効と判断する基準 (MCID: Minimal Clinically Important Difference) は2点以上の低下。
- また、世界のCOPD組織であるGOLDはCAT合計点が10点以上の場合に症状が強いと判断するとしている。